

近着石刻関係書所収元代石刻リスト 13

森田 憲司

第 21 号に引き続き、近年に中国で刊行され、日本に入荷した石刻関係書のうちから、元代石刻の拓影や写真、あるいは録文を掲載するものを紹介する。なお、各石刻の名称には、筆者が拓影によって題額などから採録したものや独自に命名したものもあり、各書籍が石刻に附している名称とは同じではない場合が少なくない。碑刻の年代についても同じ。なお、『三晋石刻大全』については、べつに既刊所載元代石刻の総目を作成し、現在印刷中である。

平谷石刻 北京燕山出版社 2010 年 6 月

拓影(一部)、簡体字録文(訓点なし、改行記号有)、解題

薊州平谷大興隆禪寺創建經藏記碑(首題) 大徳元年 12 月日(1298/12) 8p

碑陽は拓影あり

平谷興隆寺聖旨碑(森田) 大徳 3 年 7 月立石(1300/07) 12p

漢文部分は録文のみ、パクパ文は拓影のみ

贈奉訓大夫張公墓石残(森田) 至順 2 年 2 月立石(1331/02) 14p

拓影、写真、録文

嶋山雙山禪寺碑石(全文) 年代不明 15p

題額のみ、漢文は写真、パクパは拓影、1982 年発見

大名石刻選 線装書局 2011 年 6 月

拓影、解題

大元故資善大夫雲南行尚書省右丞贈銀青榮祿大夫平章政事毅敏李公(愛魯)墓誌(首題)

至元 29 年 2 月 27 日葬(1292/02/27) 522p

※1990 年 3 月出土 『民族研究』2012-3 に簡体字録文(訓点付、拓影なし)

瀋陽碑誌 遼海出版社 2011 年 8 月

拓影、写真、録文(繁体字)、解説

城隍廟記(首題) 至正 22 年中秋(1362/08/15) 7p(碑陽)、8p(碑陰)

通常「瀋陽路城隍廟記」と呼ばれるが、首題は「城隍廟記」、額は「城隍廟碑」

巨冊だが元碑はこれのみ

永嘉金石志 鄭小小編 中華書局 2011年11月

拓影(カラー)もしくは写真、簡体字録文(訓点付)、解題

李養直壙誌(本書) 至正乙酉12月甲寅葬(5/1345/12/04) 74p

※拓影、首題なし

謝瑀鶴陽題刻(本書) 至正乙巳書(25/1365) 75p

※カラー写真で掲載されるも写真不鮮明なため、すべて本書の解説による。

大唐西市博物館蔵墓誌 胡戟、榮新江編 北京大学出版社 2012年9月

拓影、繁体字録文(訓点付)、解説

大元故成和郎陝西等処官医提举嚴君(毅)墓誌銘(首題)

大徳9年8月22日葬(1305/08/22) 図495(1070p)

※大徳9年5月28日卒、葬った日付について、「寔□□八月廿二日」とあり、年の部分は欠けているが、「同年」と考える。

北京遼金元拓片集 北京燕山出版社 2012年12月

日本風に言うとA3版の巨冊で、元だけでも48件の鮮明な拓影を掲載する(房山石経5件を含む)。ただし、いずれもすでに『北京元代史蹟図誌』(1点のみ『北京遼金史蹟図誌』)に掲載のものであるため、煩を避けるため細目は掲載しないこととした。ただし、『北京元代史蹟図誌』に掲載で本書未収のものもある。鮮明な拓影が大判で一括刊行されたことは喜ぶべきことである。森田の北京碑刻目録には入力してあるので、改訂版公開の際には採録される。

臨県碑文大観 郭時健編 三晋出版社 2013年2月

簡体字録文のみ、語注有

大元故延安兵馬総管袁公(湘)神道碑并序 至元25年9月29日(1288/09/29) 16p

※碑は1956年に壊され、五画星に加工されているとのこと、文は県志によっている。

麗水宋元墓誌集録 鄭嘉礼・梁曉華編 浙江古籍出版社 2013年4月

拓影(拓本のないものについても档案など典拠を明示)と録文(繁体字)、出土状況・寸

法などの簡単な注、『括蒼金石志』などに関連記事がある場合その影印。麗水は處州。

麗水

葉天定母趙氏壙誌（本書） 大徳7年11月壬辰葬(1303/11/19) 93p

右半欠落し題額は「趙氏壙誌」のみ見える

稼圃先生郭公（良知）墓誌銘（首題） 延祐戊午11月18日葬(5/1318/11/18) 95p

本書は見出しを壙誌とするがこれは墓誌（他人が書いている）

先考新昌史君林公壙誌（篆額） 至元乙亥10月乙亥葬(1/1335/10) 98p

延祐辛酉進士、拓影でも「十月乙亥」に見えるが、この月には乙亥はない。

亡妻葉氏（吳獬妻）壙誌（篆額） 後至元6年10月19日附(1340/10/19) 101p

部分拓影のみ

徐奎暨妻張氏壙誌（本書） 至正壬午十二月丙辰合葬(2/1342/12/19) 102p

松陽

葉擘壙誌（本書） 皇慶壬子葬(1/1312) 123p

竜泉

處士胡君伯益墓誌銘（篆額） 至元4年正月葬(1338/01) 163p

録文には「至元四年正月壬申朔」とあるが、掲載の普查の録文には「正月□日朔」となっている。現状は漫漶が激しいとのことで、第二次文物普查の録文（影印あり）による

桂林石刻総集輯校 中華書局 2013年5月

校点本、拓影は巻頭写真のみ（文宗封孔子廟碑、黎載跋孔子造像記）。題名は多い。

永豊庫：元代倉儲遺跡発掘報告 寧波市文物考古研究所編 科学出版社 2013年8月

112頁に元碑の拓影あり。字数わずかな碎片だが、非漢民族の名前が複数見えるので、参考として掲げておく。

慶陽金石碑銘菁華 張智全編 甘肅文化出版社 2013年9月

拓影、簡体字録文、解説

大元故提領燕君墓表銘 大徳癸卯3月清明日(7/1303) 図版40

新日下訪碑録 房山卷 北京石刻は芸術博物館編 北京燕山出版社 2013.11

解題、簡体字句点付録文、注釈、按語を付して掲載。本書は房山区を対象とする。語句や内容の注釈がつけられているのが特徴。ただし、採録された石刻の数は十全ではなく、

附録としてデータのみを掲載しているものもある。また、いずれもすべて他に拓影等あり。ここでは、録文を有するもののみ名を掲げる。(命名は森田による) 北京の石刻について、全3巻の予定と書く。

- 81p 大都房山県小西天石経山雲居禪寺藏經記
- 86p 重修華嚴堂經本記碑
- 165p 大元勅賜十字寺碑記
- 178p 大元勅賜上萬穀積山靈巖禪寺碑
- 217p 故大行禪師通円懿公功德碑并序
- 226p 重建龍泉大曆禪寺之碑
- 232p 有元故医隱賈君阡表
- 237p 房山県大安山龍海觀創建黒龍潭廟記
- 407p 玄靖達觀大師劉公墓誌銘

北京石刻芸術博物館蔵石刻拓片編目提要

北京石刻芸術博物館編 学苑出版社 2014年5月

録文はないが、600頁を超える巨冊。記述の形式は、石刻目録記述検討の参考となる。「北京石刻芸術博物館石刻文化系列叢書之15」とあるが、これまで何が出版されているのか不明。

調査したが元碑のないもの

本来元碑の記載がないものは紹介する必要はないのだが、それぞれ特徴のある書物なのでここで取りあげておきたい。

豊台区石刻文物図録 豊台区文化委員会編 北京燕山出版社 2008年9月

収録された石刻には明代以降のものしかないが、鮮明な拓影と、改行記号あり、句点なしの簡体字録文、それに解題とそろっており、評価できる図録である。また、本書により、同区内に石刻を集めた場所があることもわかった。

広州府道教廟宇碑刻集釈 中華書局 2013年8月

元の石刻なし(宋はある)。校点つき繁体字録文のみだが、厚冊2冊で件数は多い。

朝陽文物志 北京市朝陽区文化委員会編 文物出版社 2014年3月

古代石刻の項目には元代の石刻の記事はないが、清代の石刻の記事豊富。墓葬の部分に石刻出土墓の記事あり。